

総合資源エネルギー調査会 第18回ガスシステム改革小委員会

平成26年12月9日

株式会社東芝 セミコンダクター&ストレージ社

「導管部門の中立性確保」に関する意見**<総論>**

需要家の立場として、産業競争力向上の観点(ガス費用の低減)から都市ガスの自由化は望ましいと考えており、託送料金の公平性・透明性の確保につながるよう議論を深めて欲しいと考えている。

<エレクトロニクス業界の現状>

平成25年の世界半導体市場シェアランキングにおいて、米インテル社が1位(15.2%)、韓国三星電子社が2位(9.4%)、移動体通信の通信技術及び半導体の設計開発を行う米クアルコムが3位(5.5%)を占めており、日本勢は当社が6位、ルネサス・エレクトロニクス社が10位と、苦戦を強いられているのが現状である。

平成25年の世界半導体市場シェアランキング

Rank CY13	Rank CY12	Company Name	Market Share CY13	Revenue CY13 (US M\$)	Revenue CY12 (US M\$)	CY12- CY13 Growth
1	1	Intel	15.2%	48,030	49,089	-2.2%
2	2	Samsung Electronics	9.4%	29,644	28,622	3.6%
3	3	Qualcomm	5.5%	17,276	13,177	31.1%
4	7	SK Hynix	4.1%	12,836	8,965	43.2%
5	10	Micron Technology	3.7%	11,814	6,917	70.8%
6	5	TOSHIBA	3.6%	11,467	10,610	8.1%
7	4	Texas Instruments	3.3%	10,561	11,111	-5.0%
8	8	STMicroelectronics	2.6%	8,060	8,415	-4.2%
9	9	Broadcom	2.5%	8,011	7,846	2.1%
10	6	Runesas Electronics	2.5%	7,761	9,152	-15.2%
		Others	47.5%	149,930	146,008	2.7%
		Total Market	100.0%	315,390	299,912	5.2%

Source: Gartner (2013年12月)、速報値

(為替レート: 2012年 1ドル=79.81円、2013年 1ドル=97.27円)

<当社の現状>

当社の電子デバイス部門は、次に示す製品群を、国内5拠点で生産しているが、国内での生産活動を継続するには、海外メーカーに対し競争力を更に強化する必要があり、そのためには国内での生産性向上は不可欠と考えている。



NAND 型フラッシュメモリ



SSD(ソリッド・ステート・ドライブ)

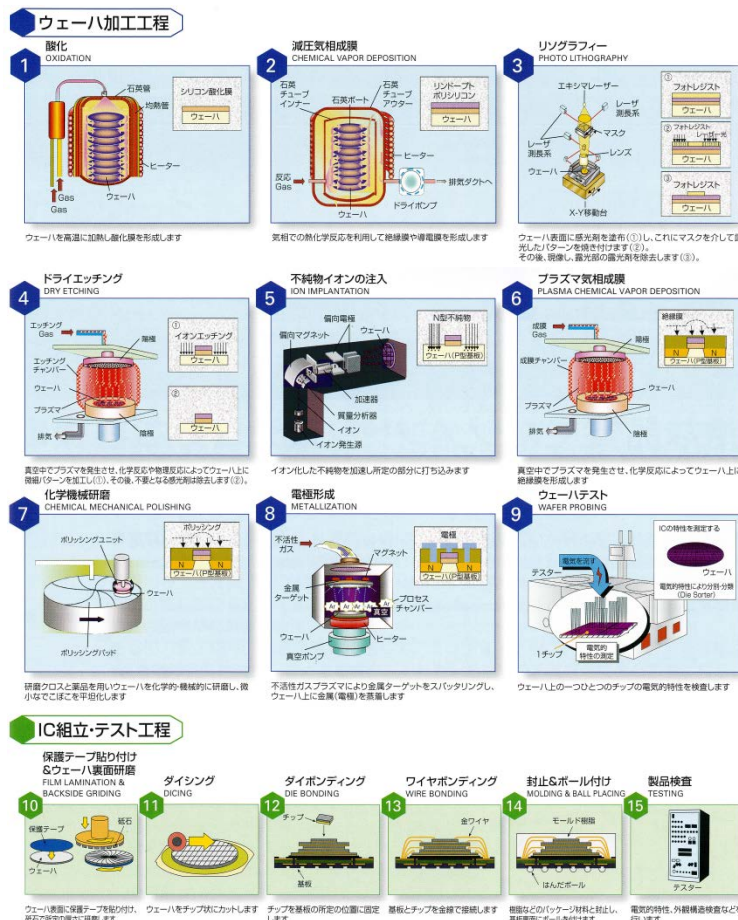


ディスクリート・システム LSI

都市ガスは、半導体製造工程において、主にクリーンルームの空調用熱源や、〔2〕減圧気相成膜・〔6〕プラズマ気相成膜工程などで使用する半導体材料ガスの除害(燃烧)等に用いられている。当社では、あらゆる項目について生産性の向上に取り組んでいるが、都市ガスの小売り全面自由化が広く実現されれば、自由競争による都市ガス料金の抑制が期待でき、動力費用のコストダウンによる生産性の向上を見込まれる。



クリーンルーム



半導体製造工程

<需要家としての意見>

- 複数の事業者が同じ地域にガス導管を敷設すると導管が二重になるなど非効率になるため、新規参入業者がガス導管の利用料を支払って需要家にガスを供給する託送方式が効率的と考える。
- 託送供給においては、ガス導管を各小売事業者が公平・公正に利用できる環境整備が求められており、託送制度で得た利益を他部門で使うことを防ぐねらいで設けられている現行の会計分離の見直しが議論されている。需要家の立場として、託送料金の公平性・透明性の確保につながるよう議論を深めて欲しいと考えている。

需要家から見て、①ガス導管事業とその他部門で共通費用とされる部分の配布比率などの妥当性や、②新規参入者に求められる同時同量制度が、導管の貯蔵機能を活用した供給が可能な現行事業者に比べ導管利用条件が不利でかつ無駄なコストを強いられている状況が、公平性・透明性に欠けるのではないかと感じている。

電気事業が夏場に時間使用量の最大が出るのに対し、ガス事業は冬場にでるという点でも、都市ガス設備の有効活用が進むと考えられることから、オール・ジャパンの力を結集することで、日本の製造業復活に向けた御支援をお願いしたい。

以上